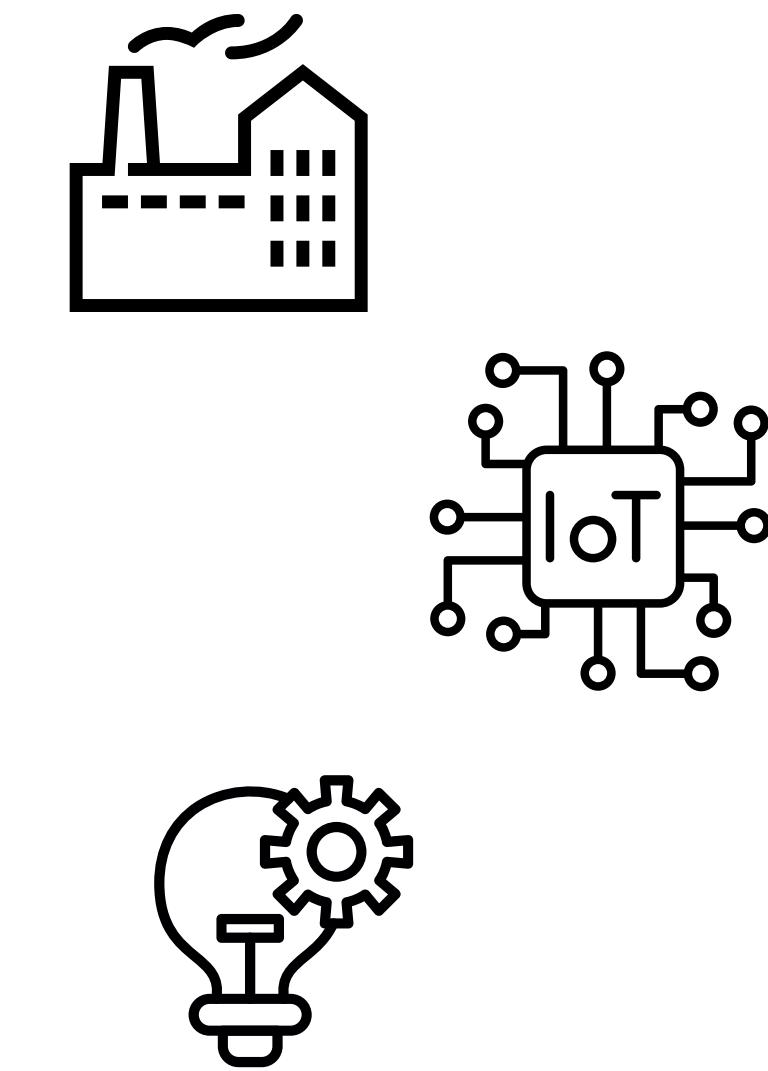
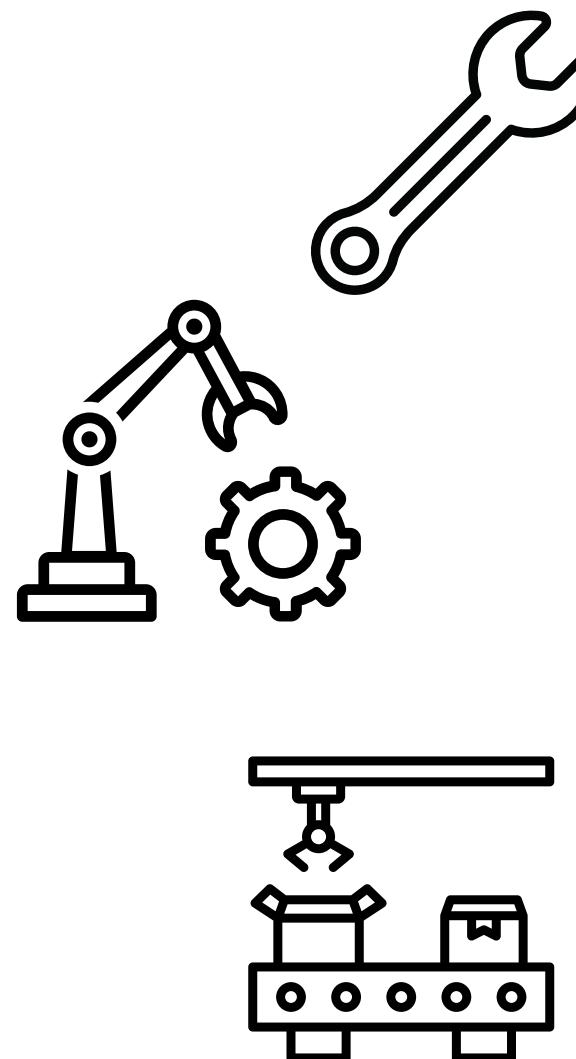


# 課題解決ワークショップ

現場の課題を見つけ、解決するアプローチを学ぶ

MANUFACTURING INDUSTRY DX WORKSHOP



福島コンピューターシステム株式会社

# 事務局挨拶

## INTRODUCTION

石川 泰弘

福島製造業デジタル化推進プロジェクト事務局

福島コンピューターシステム株式会社

情報戦略部 副部長



# ～福島県製造業デジタル化推進プロジェクト～とは？

## WHAT IS THE FMDX ?

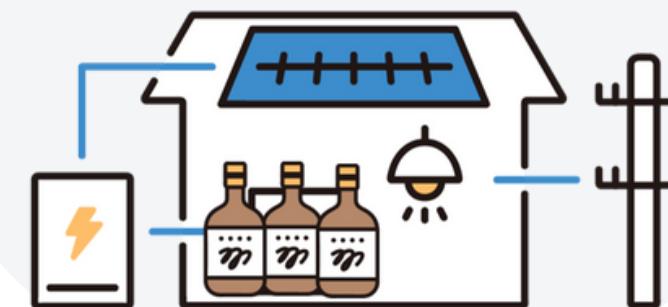
### デジタル技術 導入支援

普及啓発セミナーや  
ワークショップを開催！



### 地域産業の魅力 向上支援

日本酒 × IoT プロジェクト



### デジタル技術 高度化支援

技術トレーニング



### 福島県の“ものづくり”をデジタルで応援！

福島県では、内閣府の「デジタル田園都市国家構想交付金」を活用して、  
令和6年度から3年間にわたり

- 「ものづくり企業のスマート化支援事業」を展開中です！

# 主なプロジェクトの内容

## MAIN PROJECT DETAILS



### デジタル化普及啓発

セミナー・ワークショップの開催で、福島県内の製造業のデジタル化について普及を促進。



### デジタル化導入支援

県内の製造業の方々に、コーディネーターを派遣。直接もしくはウェブで相談を行い、デジタル技術の導入をサポート。



### ふくしまAI・IoT技術研究会

入会者限定の福島県ハイテクプラザのAI・IoTに関する情報も配信。無料で入会可能で、近年、入会者が増加中！

# 事業の詳細

DETAILS OF THE BUSINESS



ホームページURL  
<https://fmdx.jp/>



“楽しく学べて、つながれる”  
地域密着型の技術コミュニティ！

ふくしまAI・IoT技術研究会



お申込みフォーム  
[https://fmdx.jp/news/  
detail/8956/](https://fmdx.jp/news/detail/8956/)

# ワークショップ講師

**WORKSHOP INSTRUCTOR**

**貝沼 諭依**

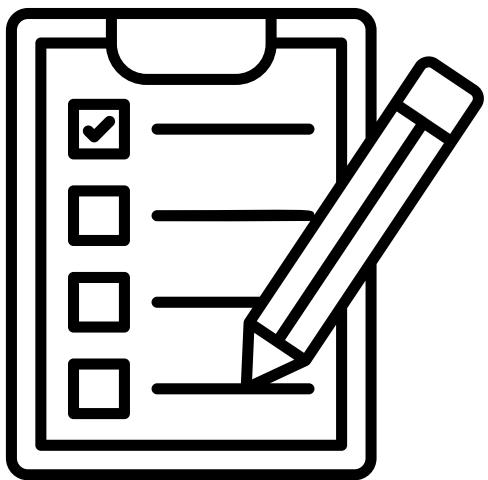
福島製造業デジタル化推進プロジェクト事務局

福島コンピューターシステム株式会社

デジタルコーディネーター



# 本日の流れ



INDEX

- イントロダクション（DXの必要性）
- アイスブレイク
- 課題解決ワークショップ
- まとめとネクストステップ

# DXが進まないあるある

common issues that prevent DX from progressing

とりあえずDX

結局上が決めた  
ことに従う

何から始めていい  
のかわからない



# DXあるあるに陥ると...

目的がないまま  
DXツール導入



現場では使われない  
ツールになる



結局無駄に  
お金だけ消える



# なぜ今DXが必要なのか？

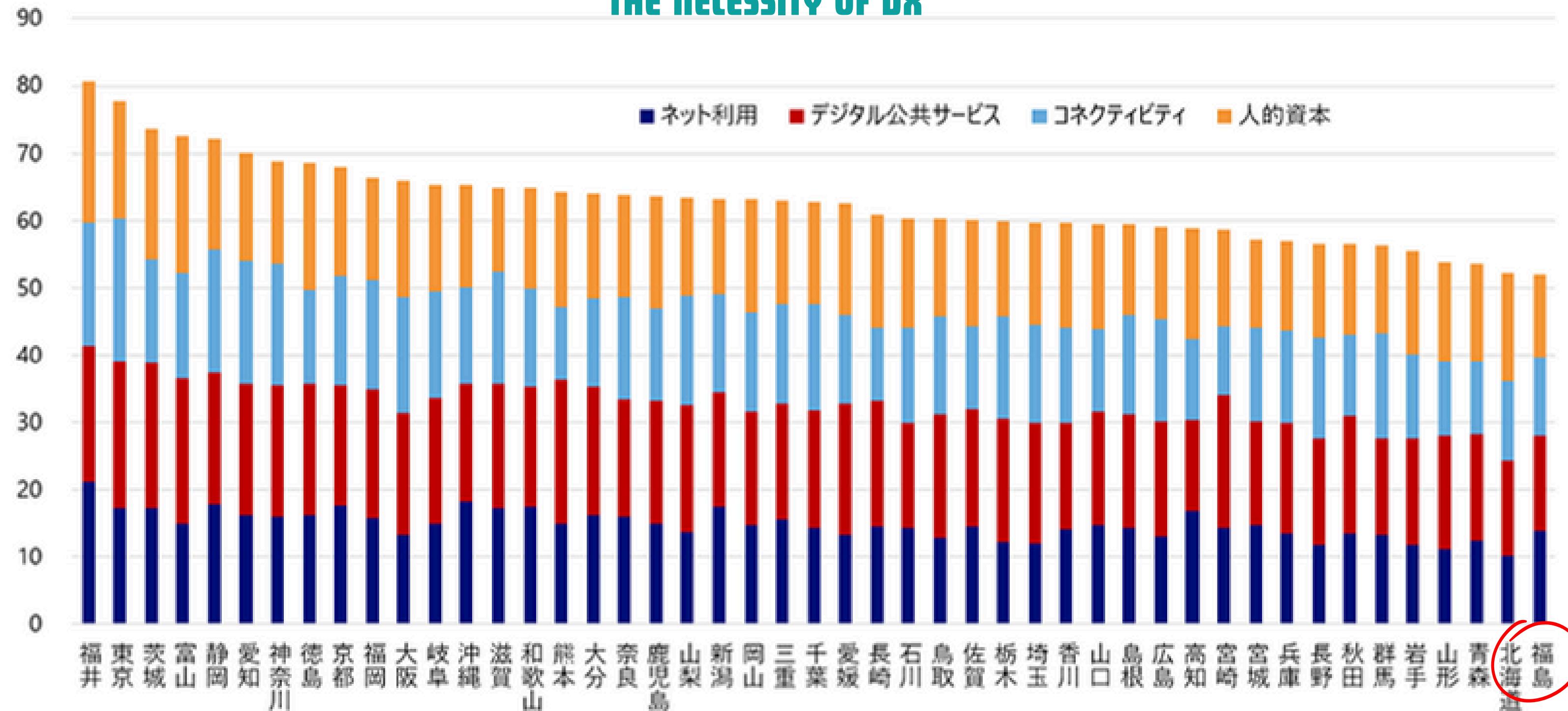
THE NECESSITY OF DX

- ・ 2025年の崖：IT人材不足やシステム老朽化が深刻化
- ・ 人件費・物流費などの高騰：業務効率化が不可欠
- ・ 競合や取引先がDX化：スピード・コスト面で差がつく

何もしないリスクのほうが大きい！

# なぜ“今DXが必要なのか？

## THE NECESSITY OF DX





# DXで大切なのは「見える化」

THE IMPORTANT THING IS TO MAKE IT VISIBLE



# 今回大切なのは『見える化』

COMMON TRAITS OF FAILING COMPANIES

## 目的がないまま DXを始めてしまう

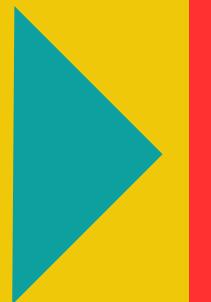
流行っているから



かっこいいから

補助金があるから

ITツールの導入がゴールになってしまい  
現場に合わない手段が選ばれる



## DXを成功に導くための 基盤



現状と課題を“正しく”把握  
現場の理解・納得を得やすい  
成果を測定・検証しやすくなる

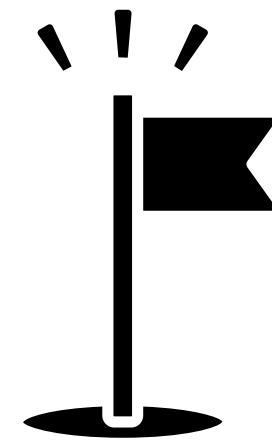


# 現在地もわからない 地図なしで旅に出るようなもの

まずは「今どこにいるか」と  
「どこへ向かうか」見える化することが大切

- 目的地もルートも決めずに旅に出る
- 迷って時間もお金も無駄
- DXも同じ！





**TODAY'S GOAL**

# 今日のゴール

## DX化は製造業の未来をつくるカギ

- DX導入の前に“見える化”的大切さを理解する
- DX（デジタルトランスフォーメーション）を「自分ごと」として捉える
- AI・IoT・グループウェアなどのツールを活用した改善のヒントを得る

# アイスブレイク

ICE BREAK

制限時間10分で「3つの共通点」を探す！

## 自己紹介

- ・お名前
- ・どんなお仕事をしているか
- ・共通点だと思うこと

例：好きな食べ物、通勤手段、使っているツール、最近の悩みなど



# 気軽に、なんでも書いてみましょう！

FEEL FREE TO GIVE IT A TRY



小さなことほど大事な気づきになる

- ・ どんなことでも、まずは書き出してみてください
- ・ 気軽に発信することで、新たな意見が組み合わ  
さって良いアイデアに育ちます



# DXで大切なのは「見える化」

THE IMPORTANT THING IS TO MAKE IT VISIBLE



# 目的と課題の「見える化」が成功のカギ

THE KEY TO SUCCESS



この「目的」と「現場課題」の  
見える化が最も重要

- DXによって会社の従業員をどうしていきたいのか？
- そのために現状どんな課題があるのか？

# 現場見える化 3ステップ

3 STEPS TO VISUALIZE THE WORK SITE



# 現場見える化3ステップ

3 STEPS TO VISUALIZE THE WORK SITE

## STEP1

### 業務棚卸しワーク

- ・自分たちの業務を洗い出す
- ・誰が、どこで、どうやって、どれくらいの時間
- ・業務の全体像を把握し、どこに課題があるかを見つける

## STEP2

### 優先順位付けワーク

- ・「重要度×緊急度」で業務を評価して整理
- ・実行しやすく、効果の高い業務を選定する

## STEP3

### 1つの改善アクション

- ・今週中、今月中にすぐ改善しやすい業務を選定する
- ・まずサクッと80点を取れることから始める

# 想定シナリオ

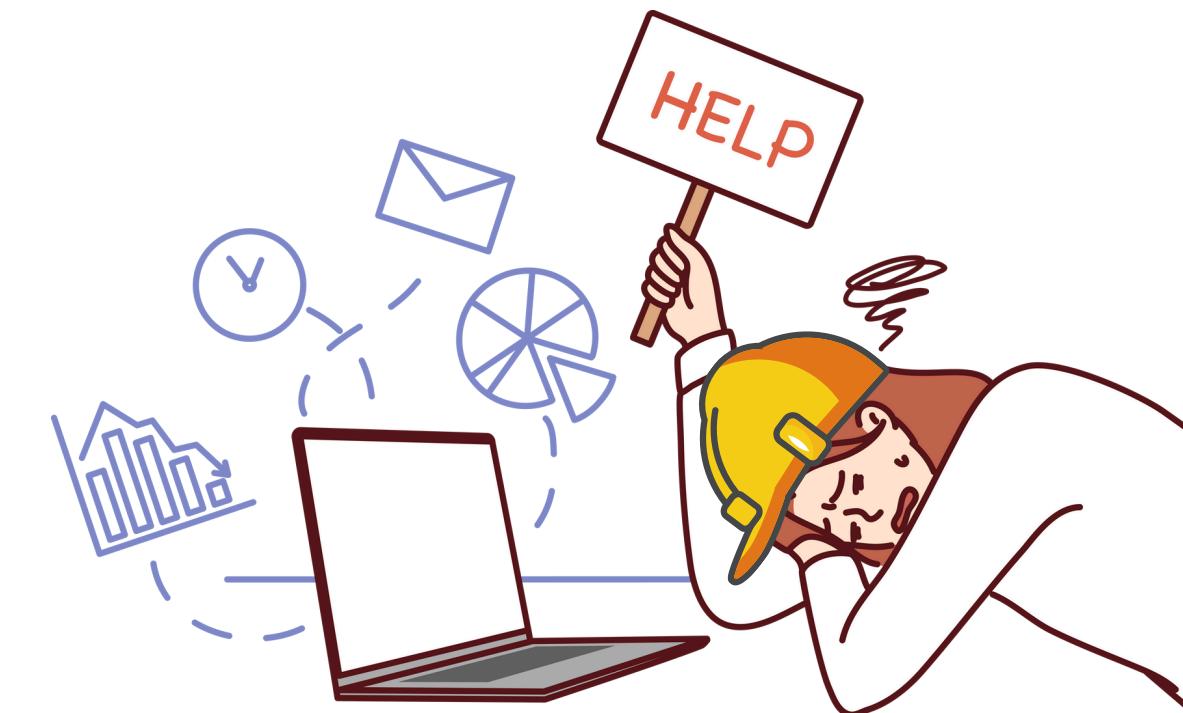
## ある中小製造業の現場

あなたは、従業員30名ほどの中小製造業の「従業員」です。製品の組立・検査・出荷までを担う現場では、日々の業務が忙しく、改善の余地があると感じながらも、なかなか手をつけられていません。最近、社内で「業務のムダを減らして、デジタル化を進めたい」という方針が出されました。しかし、現場ではまだ以下のような状況が続いているます。

### 現場での具体的な状況・課題（例）

- 紙での勤怠申請や日報提出
- Excelでの手動集計や報告書作成
- メールでの情報共有が中心で、情報が分散
- 特定の人しかできない作業が多く、属人化している
- 会議の議事録や作業指示が手書きで残されている
- 生産指示、組立手順、品質調査など、紙ベースの管理が多い
- 納品先や製品仕様が増え、紙チェックリストラベル貼り間違い・出荷先間違いが増加

今回はペルソナシートをご準備しております！  
ペルソナになりきって  
課題を洗い出してみましょう♪



# 現場見える化 3ステップ

3 STEPS TO VISUALIZE THE WORK SITE

1

## 業務棚卸しワーク



# 1

# 業務棚卸しワーク

BUSINESS ORGANIZATION WORK

## 目的

- ・ 現場の業務を“見える化”する。
- ・ 誰が、どんな作業を、どれくらい時間かけて、課題だと思っているのか全員で把握する。

## 方法

1. 【個人ワーク】付箋に、現状(1日の流れや1週間のルーティン)や課題を書き出す（10分）
2. 【グループワーク】模造紙にフローとしてまとめ、重複や無駄、属人化がありそうなところをチェック（10分）

## ポイント

- ・ 業務をできるだけ細かく書き出し『いつ・誰が・どこで(どこの部署/どの場所)・何を』しているか把握しよう
- ・ 理由が曖昧な作業や、無駄に感じる作業にこそ改善のチャンスがある

# 1

# 業務棚卸しワーク

BUSINESS ORGANIZATION WORK

## 目的

- ・ 現場の業務を“見える化”する。
- ・ 誰が、どんな作業を、どれくらい時間かけて、課題だと思っているのか全員で把握する。

## 方法

1. 【個人ワーク】付箋に、現状(1日の流れや1週間のルーティン)や課題を書き出す（10分）
2. 【グループワーク】模造紙にフローとしてまとめ、重複や無駄、属人化がありそうなところをチェック（10分）



## ポイント

- ・ 業務をできるだけ細かく書き出し『いつ・誰が・どこで(どこの部署/どの場所)・何を』しているか把握しよう
- ・ 理由が曖昧な作業や、無駄に感じる作業にこそ改善のチャンスがある

1

# 業務棚卸しワーク

BUSINESS ORGANIZATION WORK

時間

誰が

どんな課題があるか

毎朝30分

営業

生産管理にメールで  
納期の確認

夕方1時間

生産管理

Excelで生産計画の修正  
社内システムに入力

毎朝30分

現場

口頭でチームに  
指示だし

毎朝30分

品質保証

品質チェック計画  
(紙)を確認



# 1

# 業務棚卸しワーク

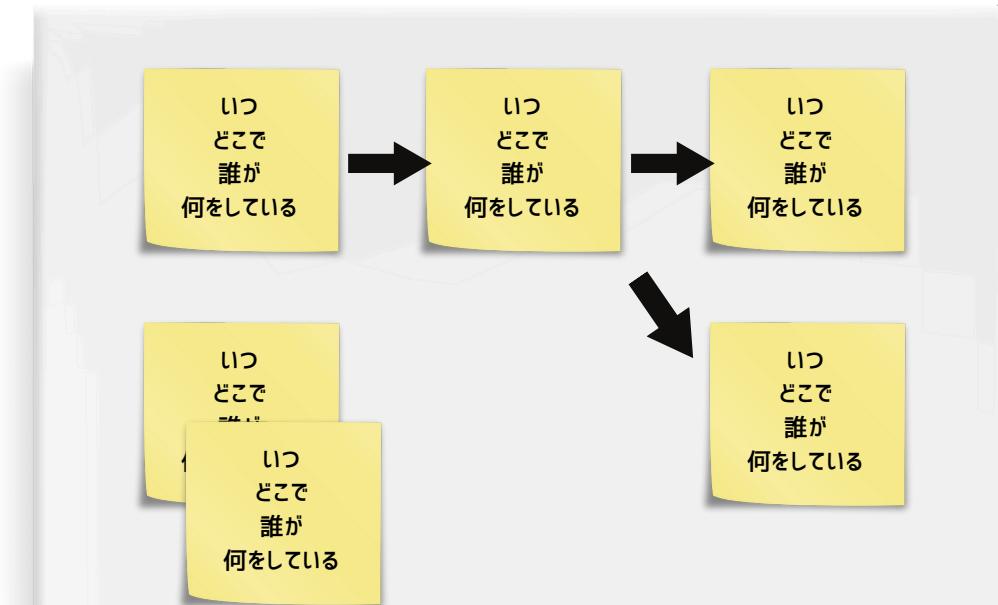
BUSINESS ORGANIZATION WORK

## 目的

- ・ 現場の業務を“見える化”する。
- ・ 誰が、どんな作業を、どれくらい時間かけて、課題だと思っているのか全員で把握する。

## 方法

1. 【個人ワーク】付箋に、現状(1日の流れや1週間のルーティン)や課題を書き出す（10分）
2. 【グループワーク】模造紙にフローとしてまとめ、重複や無駄、属人化がありそうなところをチェック（10分）



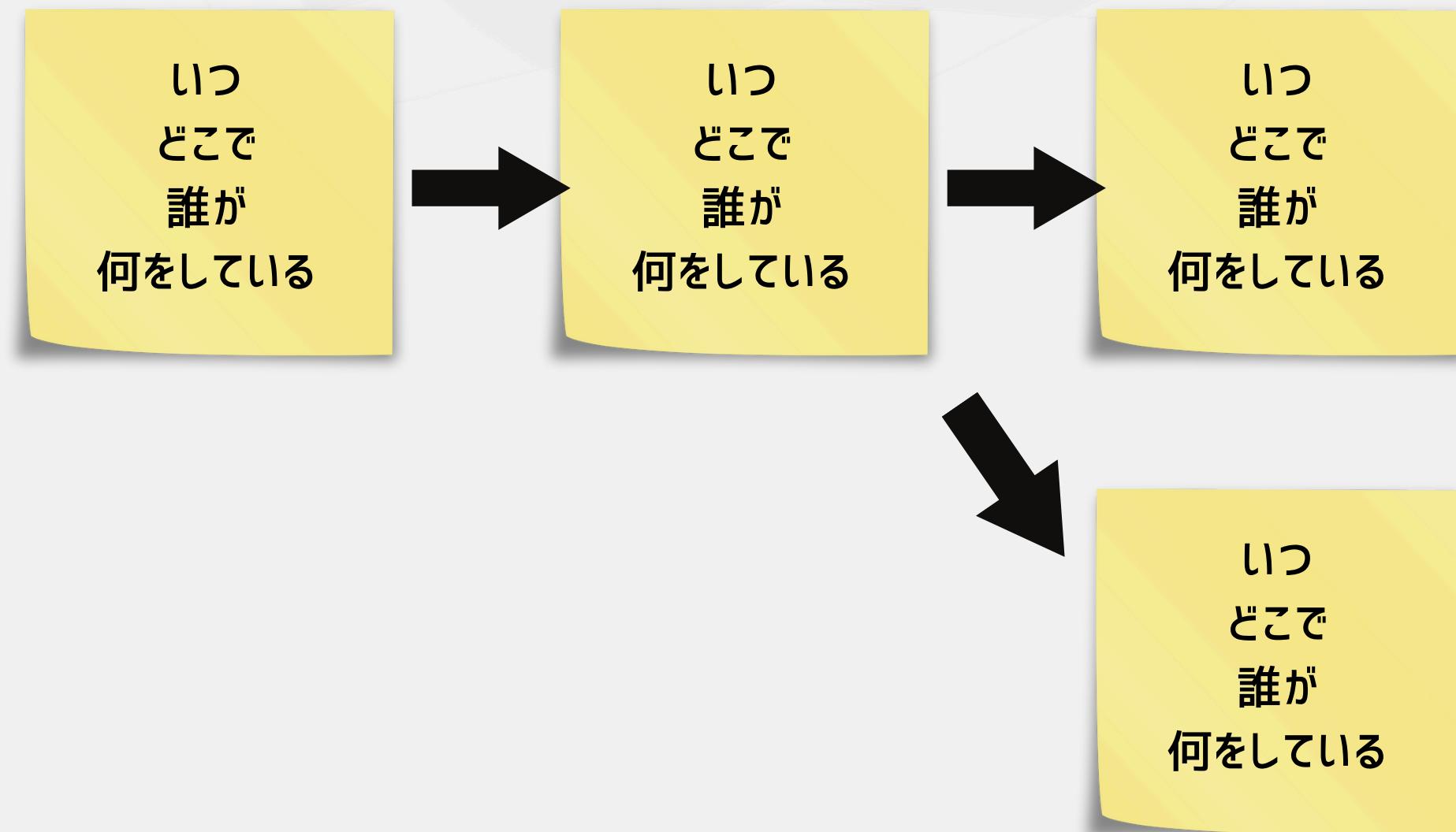
## ポイント

- ・ 業務ができるだけ細かく書き出し、『誰が・どこで・何を』しているか把握しよう
- ・ 理由が曖昧な作業や、無駄に感じる作業にこそ改善のチャンスがある

1

# 業務棚卸しワーク

BUSINESS ORGANIZATION WORK



休憩時間は10分です

# 休憩

BREAK TIME



# 現場見える化 3ステップ

3 STEPS TO VISUALIZE THE WORK SITE

2

## 優先順位付けワーク



# 2

# 優先順位付けワーク

## Prioritization Work

### 目的

- ・洗い出した課題を整理し、どちら着手すべきかを決める。
- ・スモールスタートしやすいにもの絞り込む。

### 方法

1. 「緊急度×重要度」のマトリクスで分ける
2. 「時間がかかっている順」「コストインパクトが大きい順」に並べる  
「3ヶ月以内に何ができるか」「初期投資が少ないか」など現実的な基準も考慮  
上位3~5つの「早急に改善すべき業務」または「すぐ着手できる業務」が浮き彫りになる。

### ポイント

- ・会社や取引先への影響やコストが大きい問題から洗い出すと整理しやすい
- ・いきなり大掛かりな改善ではなく、すぐ取り掛かれる小さいステップを意識しよう

# 2

# 優先順位付けワーク

## Prioritization Work

### 目的

- ・洗い出した課題を整理し、どちら着手すべきかを決める。
- ・スモールスタートしやすいにもの絞り込む。

### 方法

1. 「緊急度×重要度」のマトリクスで分ける（10分）
2. 「時間がかかっている順」「コストインパクトが大きい順」に並べる  
「3ヶ月以内に何ができるか」「初期投資が少ないか」など現実的な基準も考慮  
上位3~5つの「早急に改善すべき業務」または「すぐ着手できる業務」が浮き彫りになる。

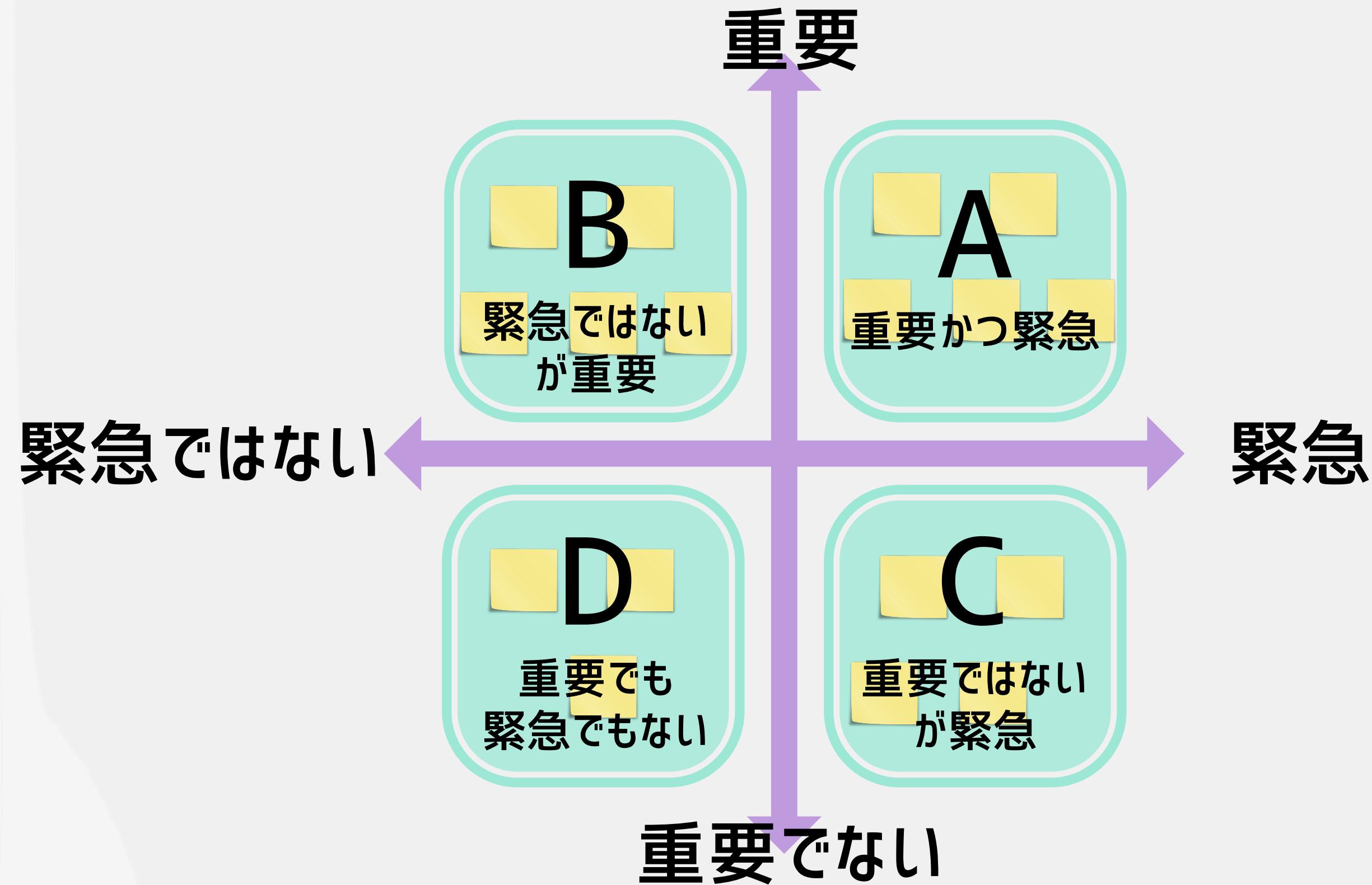
### ポイント

- ・会社や取引先への影響やコストが大きい問題から洗い出すと整理しやすい
- ・いきなり大掛かりな改善ではなく、すぐ取り掛かれる小さいステップを意識しよう

## 2

# 優先順位付けワーク

## Prioritization Work



# 2

# 優先順位付けワーク

## Prioritization Work

### 目的

- ・洗い出した課題を整理し、どちら着手すべきかを決める。
- ・スモールスタートしやすいにもの絞り込む。

### 方法

1. 「緊急度×重要度」のマトリクスで分ける
2. 「時間がかかっている順」「コストインパクトが大きい順」に並べる  
「3ヶ月以内に何ができる」「初期投資が少ないか」など現実的な基準も考慮（10分）  
上位3~5つの「早急に改善すべき業務」または「すぐ着手できる業務」が浮き彫りになる。

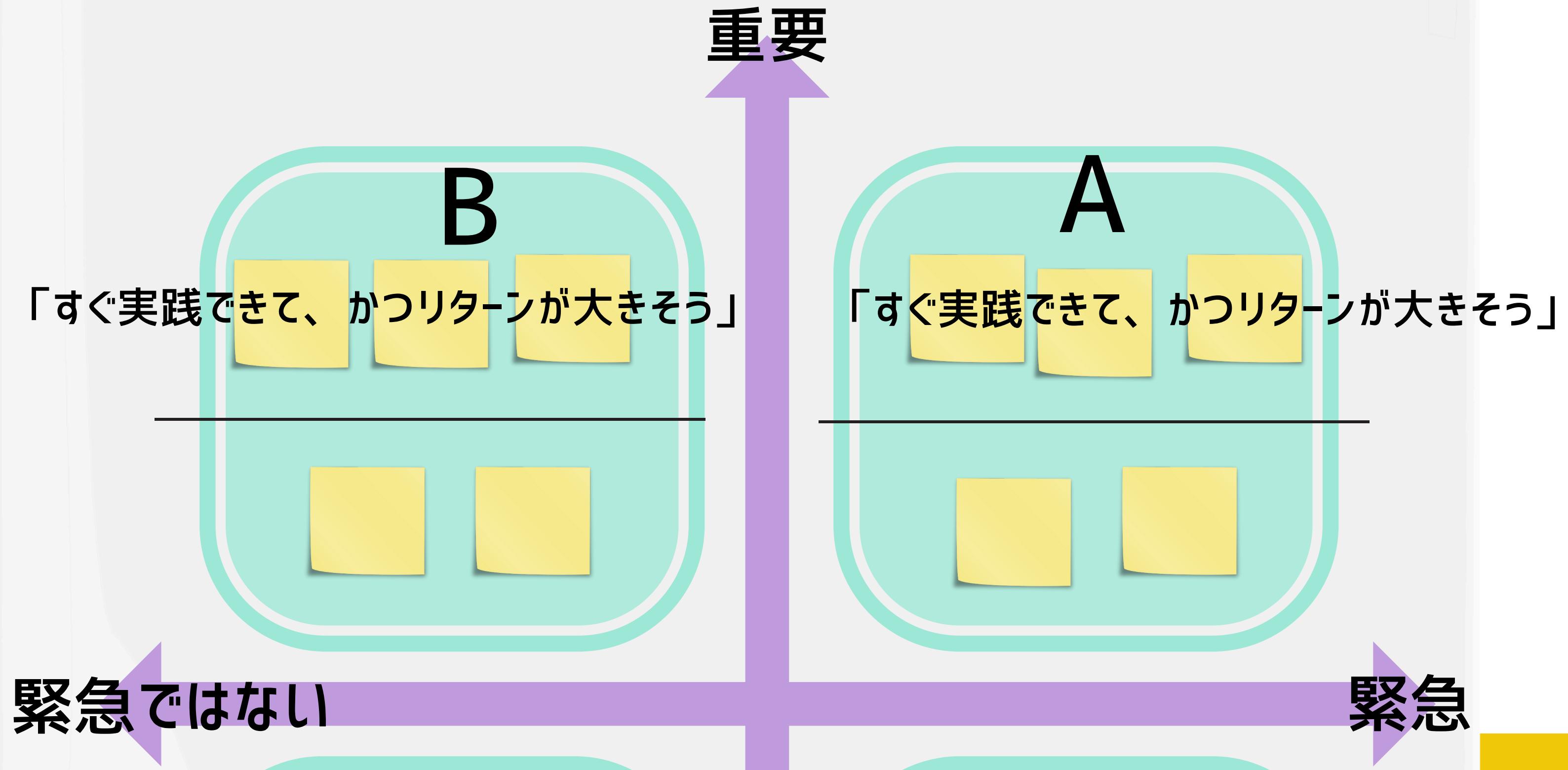
### ポイント

- ・会社や取引先への影響やコストが大きい問題から洗い出すと整理しやすい
- ・いきなり大掛かりな改善ではなく、すぐ取り掛かれる小さいステップを意識しよう

## 2

# 優先順位付けワーク

Prioritization Work



# 現場見える化 3ステップ

3 STEPS TO VISUALIZE THE WORK SITE

3

1つの改善アクション



# 3

# 1つの改善アクション

## ONE IMPROVEMENT ACTION

### 目的

- ・ “すべてやろうとせず”、最も優先度が高い or スモールスタートで始めやすいものを1つだけ選ぶ
- ・ 実際に誰がいつ何をするか決めて、明日からでもアクションに移せる状態にする

### 方法

- ・ 上位の優先課題から1つ選ぶ（すぐに動ける、影響度が大きいなど）
- ・ アクションプランを決める
  - 担当・期限（必要な小ステップを洗い出す）
  - 効果予測（どのくらいの時間/コスト削減を狙うか）

### ポイント

- ・ 絞りすぎと思えるくらい“1つ”に集中
- ・ 迷うなら「今が一番動きやすいもの」「コスト感が小さいもの」を優先

# 3

# 1つの改善アクション

## ONE IMPROVEMENT ACTION

### 目的

- ・ “すべてやろうとせず”、最も優先度が高い or スモールスタートで始めやすいものを1つだけ選ぶ
- ・ 実際に誰がいつ何をするか決めて、明日からでもアクションに移せる状態にする

### 方法

- ・ 上位の優先課題から1つ選ぶ（すぐに動ける、影響度が大きいなど）
- ・ アクションプランを決める
  - 担当・期限（必要な小ステップを洗い出す）
  - 効果予測（どのくらいの時間/コスト削減を狙うか）（20分）

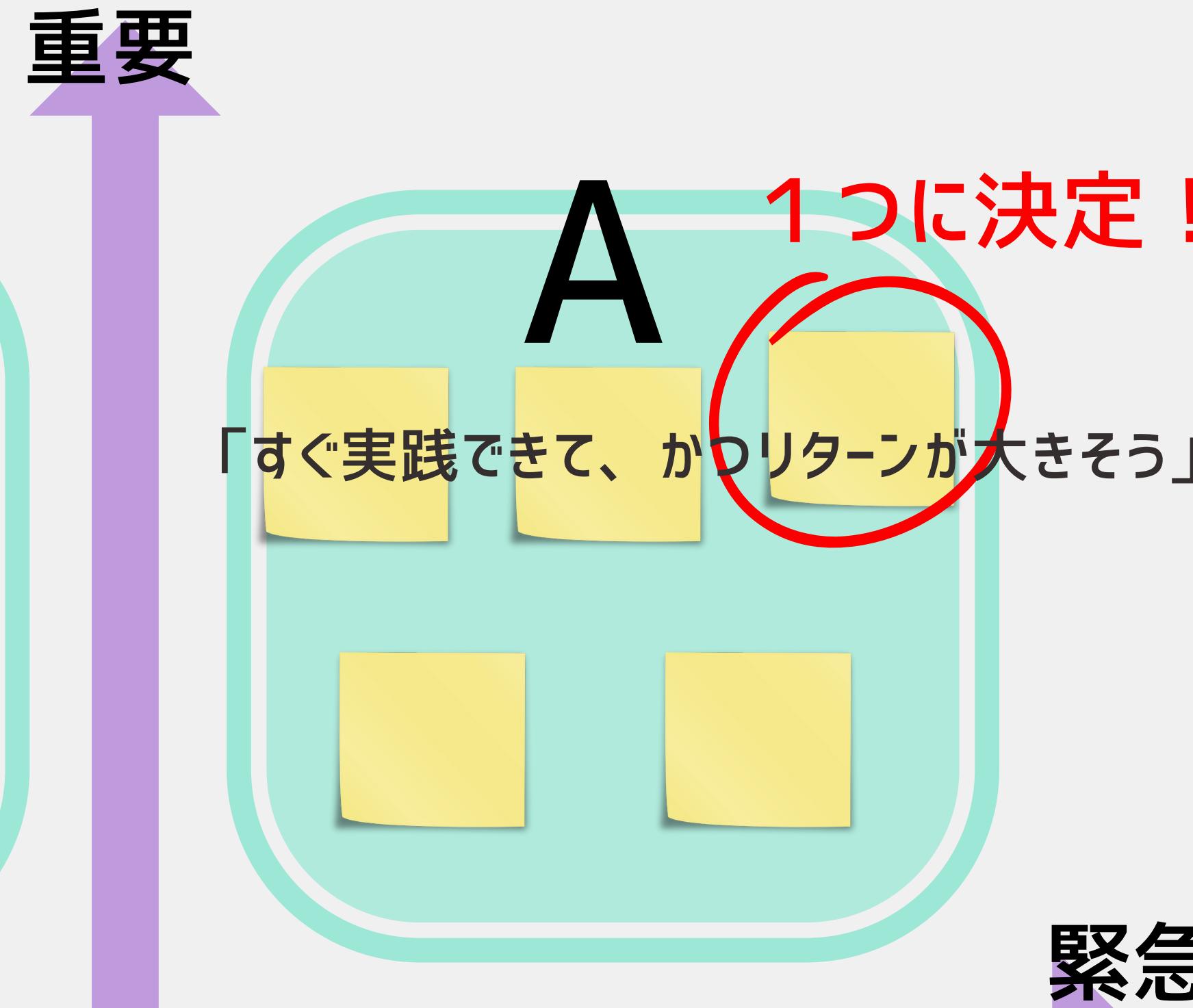
### ポイント

- ・ 絞りすぎと思えるくらい“1つ”に集中
- ・ 迷うなら「今が一番動きやすいもの」「コスト感が小さいもの」を優先

# 3

# 1つの改善アクション

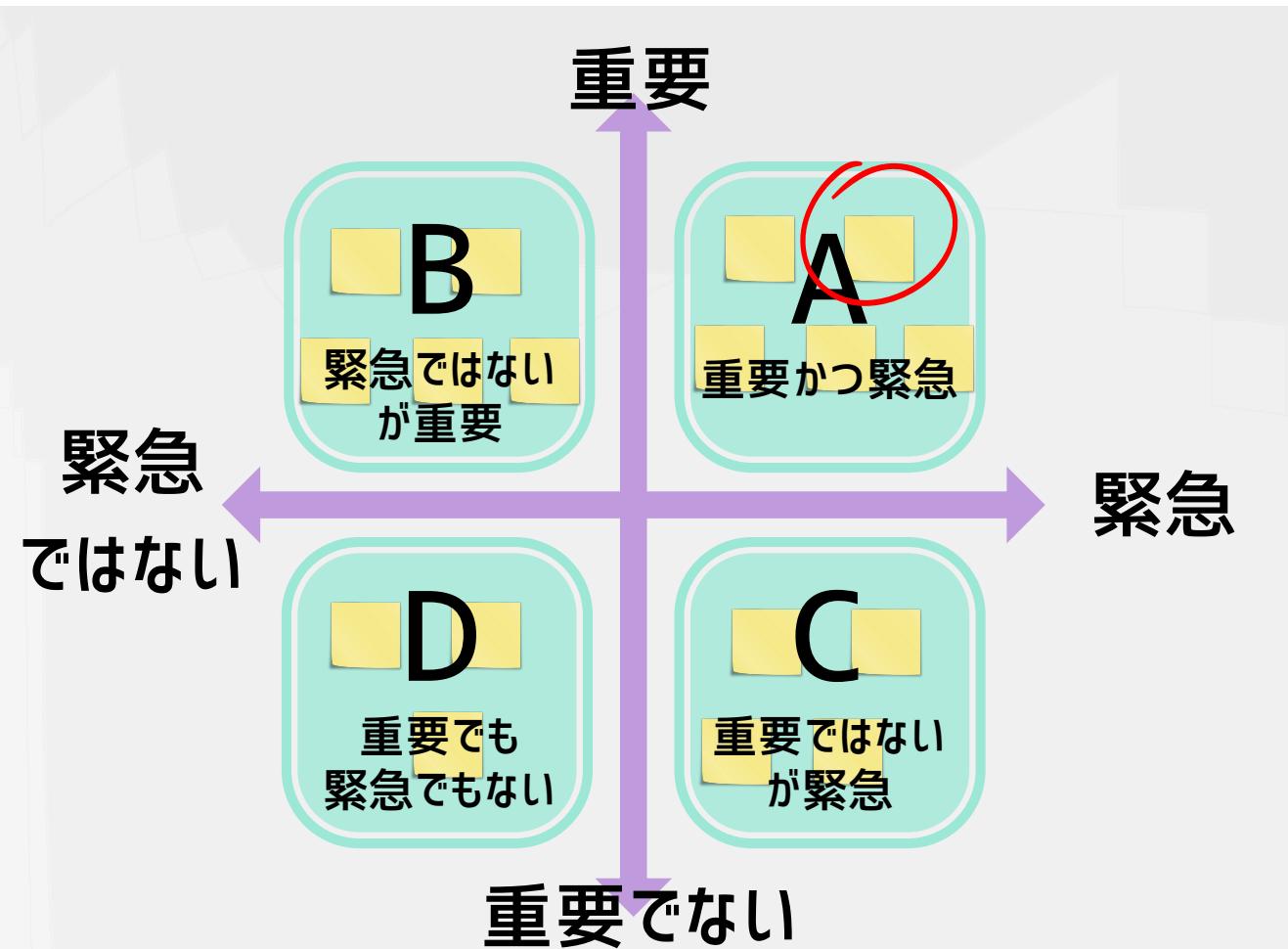
ONE IMPROVEMENT ACTION



# 3

# 1つの改善アクション

## ONE IMPROVEMENT ACTION



### アクションプラン

#### スケジュール

- 1週目 デジタル化ツールの選定・調査 A (経理)
- 2~3週目 経理課でテスト運用、運用フロー策定 A (経理)、B (総務)
- 4週目 社内周知 (ガイド資料、メール案内配信) A、C (管理職)
- 5週目～ (継続) 本格運用開始、定期的な改善・マニュアル更新 A、B

#### 期待される効果

- 時間削減：スキャン→OCR入力で手入力の負担が減り、週3時間以上の削減を見込む
- ミス削減：手書きの読みにくい領収書部分などの入力漏れや転記ミスを防げる

### 1. 担当者・期限を決める

- 「○月○日までに試作」「2週間以内にツールを比較」「来月の会議で進捗共有」など

### 2. 必要なステップを箇条書き

- ペーパレスツールを調査 (担当A/1週間)
- 試しに部署Aで2週間テスト導入 (担当B, C/○月○日～)
- 他部署へ拡大検討 (社員全体報告など)

### 3. 想定する効果を記述

- 時間短縮：○時間分/日 or 月
- コスト削減：紙印刷○枚分/月…など
- 数値化が難しければ「週1時間は減らせそう」など簡易目標でOK



## 隣のチームに発表

Announcement

次のアクションプランをスムーズに進めるための  
**デジタル化ツールのご紹介**

INTRODUCTION TO THE TOOLS

# お試しキット講師

WORKSHOP INSTRUCTOR

宮川 大司

福島製造業デジタル化推進プロジェクト事務局

福島コンピューターシステム株式会社

デジタルコーディネーター



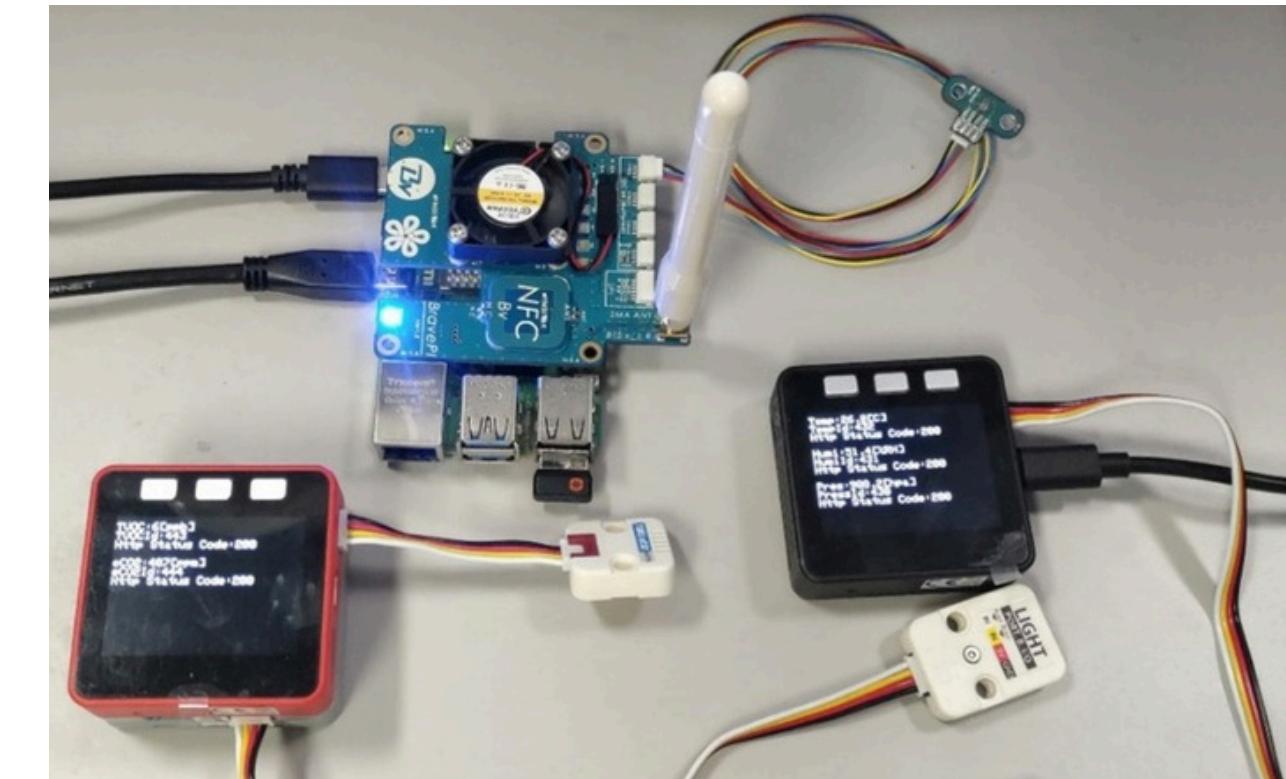
# AI・IoTを取り入れてみる

INCORPORATING AI AND IOT



## AIお試しキット

カメラで異物や異形形状をリアルタイム検出！  
「AIってこんなに簡単に使えるの！？」を実感  
いただけるキット✨

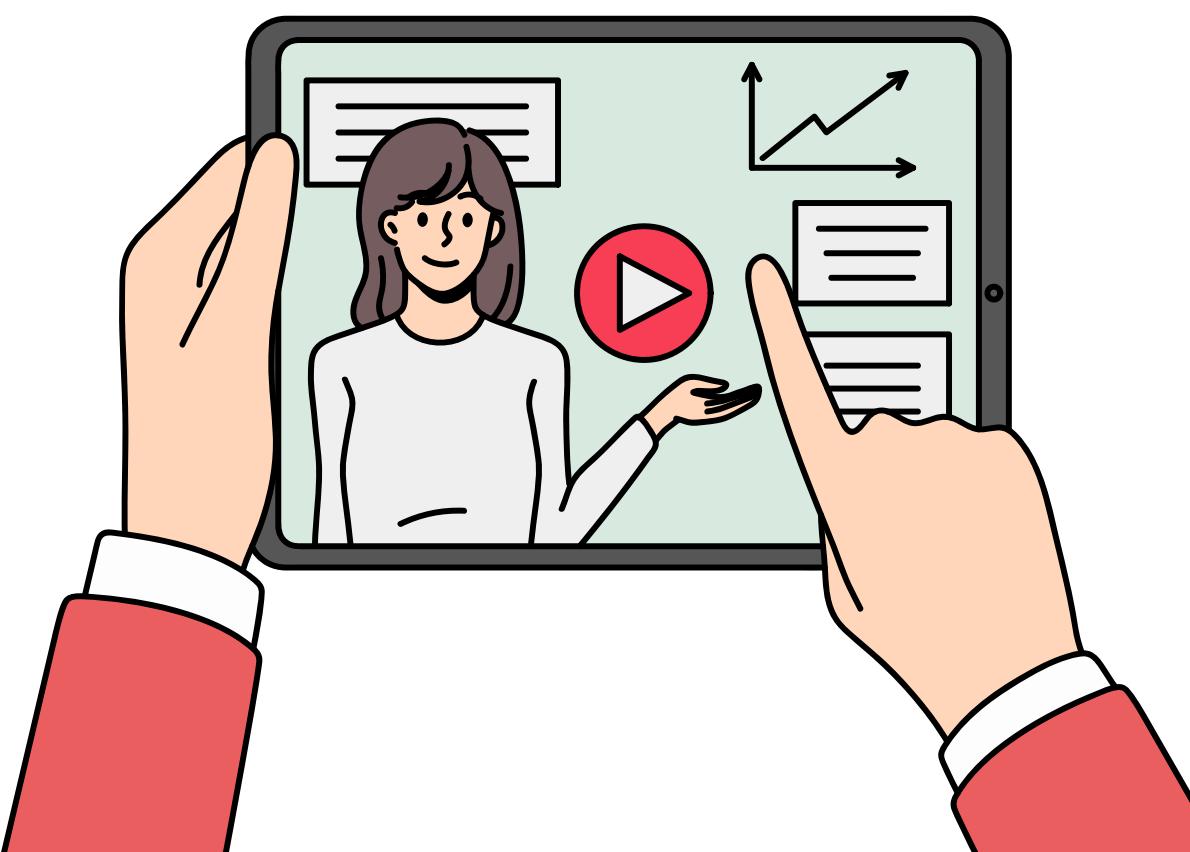


## IoTお試しキット

温度・湿度・照度などをグラフで見える化！  
電源を入れるだけ、すぐにIoT体験スタート  
できるキット✨

# AI・IoTお試しキットを もう少し詳しく知りたい

期間中いつでも！どこでも！何度でも！  
ご視聴いただけるセミナー



**FMDX 福島県製造業デジタル化推進プロジェクト**

まずは見てみるだけでOK！

令和7年度  
**はじめてのAI・IoT  
お試しキット活用講座**

開催のお知らせ

アーカイブ配信情報

録画されたセミナーを、期間中いつでも・何度も視聴できます！

視聴可能期間 2025年6月19日 ▶ 2026年2月28日

会場 オンライン WEBでのお申込は[こちら](#)

詳細・お申込み <https://fcs.seminarone.com/20250617/event/>

QRコード

「AIやIoTって難しそう...」と思っていませんか？  
実は、特別な知識がなくても、すぐに・簡単に始められるんです！

✓ 現場での活用イメージ ✓ 実際に使えるお試しキットの紹介

お試しキットとは？

デジタル技術を“簡単に体験”できる福島県ハイテクプラザのオリジナルツール

- AIお試しキット -  
カメラで異物や異形状をリアルタイム検出！  
「AIってこんなに簡単に使えるの！？」を実感

- IoTお試しキット -  
温度・湿度・照度などをグラフで見える化！  
電源を入れるだけ、すぐにIoT体験スタート

福島県製造業デジタル化推進プロジェクト

主催 福島県ハイテクプラザ

お問い合わせ

事務局 福島コンピューターシステム株式会社  
024-961-1015 fmdx@fcs.co.jp

FMDX公式サイトは[こちら](#)

● <https://fmdx.jp>

QRコード

45

# ノーコード・ローコードツール「kintone」 no-code and low-code tools



現場の業務にフィットする

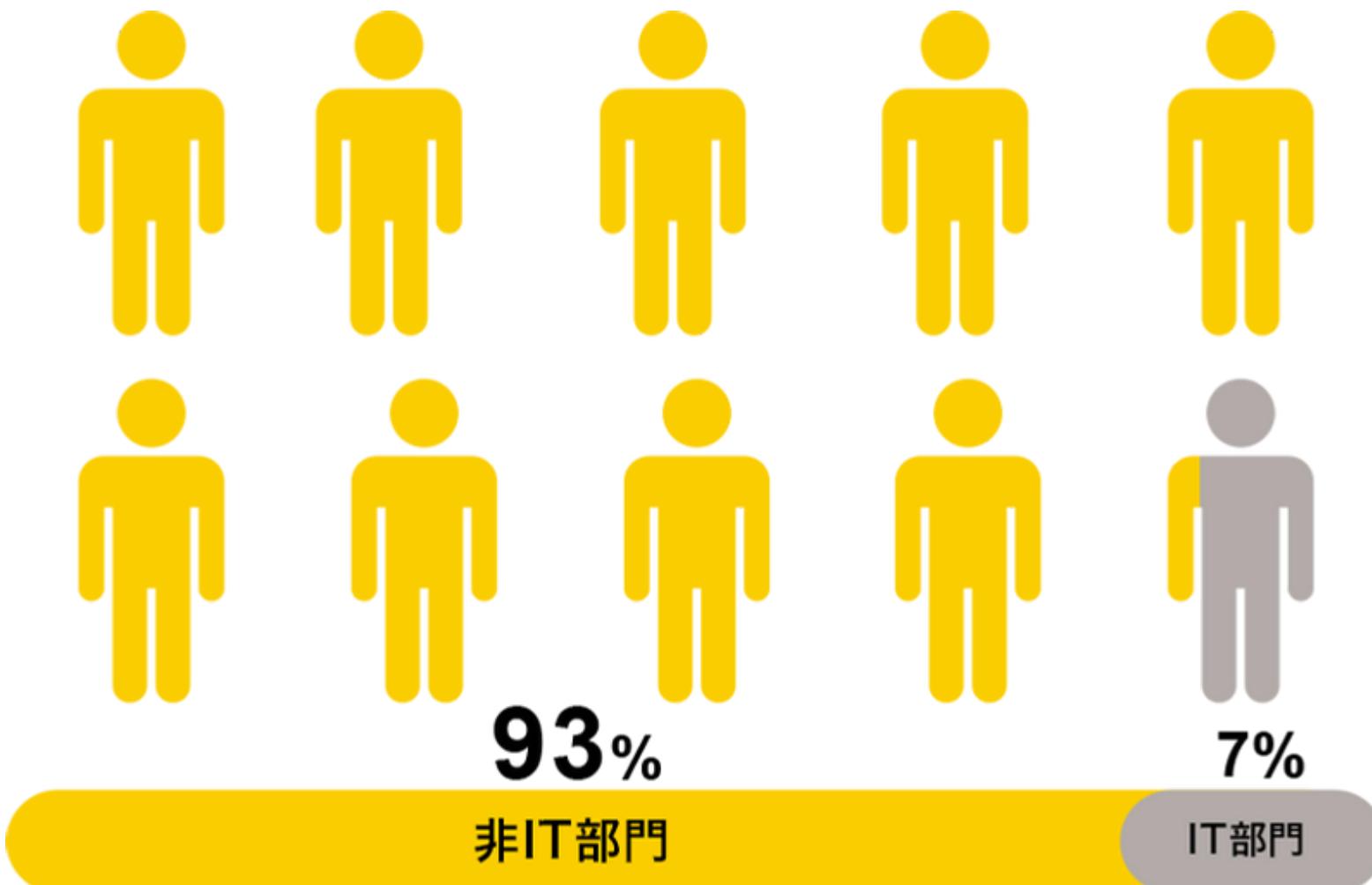
## 自分たちで業務アプリがつくれる

プログラミングの知識がなくても、  
スピーディー＆低成本に「サクッと」思いついた  
業務改善をすぐに実行できるのが特徴です。



# ノーコード・ローコドツール「kintone」<sup>キントーン</sup>

## NO-CODE AND LOW-CODE TOOLS



(対象：2022年12月末時点で契約中)



専門知識がないユーザーからも選ばれている！

導入担当者の  
93%が非IT部門  
特別なスキルや知識は必要ありません。  
たくさんの非IT部門の方が自分たちでチームの  
業務をシステム化しています。

# ノーコード・ローコードツール「kintone」

no-code and low-code tools



思いついた業務改善をすぐに形に

## 導入も改善も早い

業務アプリの作成も、  
改善もノーコードでシュシュッと完了。  
スピードや状況の変化に柔軟に対応できます。

案件管理

変更を中止 アプリを更新

フォーム 一覧 グラフ 設定

フォームを保存

レコード番号 \* (自動入力)

顧客名 \* 部署名 担当者名

案件名 \* 確度 \* 初回商談日 0% 2019-10-24

提案プラン オプション 商談担当者

Xオプション Yオプション Zオプション ログインユーザー

プラン費用 オプション費用 合計費用 受注予定日

0 0

添付ファイル

組み合わせると、どんな仕事にもピッタリはまる

項目一覧

# Japan Horizontal SaaS Startup Landscape\_v1.0

ONE  
SaaS

Marketing	Sales	CS		
<a href="#">fennel One</a> <a href="#">Formrun</a> <a href="#">Repro</a> <a href="#">SATORI</a> <a href="#">anybot</a> <a href="#">Shirofune</a> <a href="#">Manta Marketing</a> <a href="#">eventus</a> <a href="#">Bizibi</a> <a href="#">POLLO SALES</a> <a href="#">Booster</a> <a href="#">Azeors</a> <a href="#">marketing</a> <a href="#">RePublic</a> <a href="#">millvi</a> <a href="#">SYNALIO</a> <a href="#">MADELLAN</a> <a href="#">eventos</a> <a href="#">kuzen</a> <a href="#">CRTS</a> <a href="#">Chat Plus</a> <a href="#">DealPods</a> <a href="#">dejam</a> <a href="#">admogo</a> <a href="#">FARO</a> <a href="#">ネクプロ</a> <a href="#">BOTCHAN</a> <a href="#">ONLY MATTRZ</a> <a href="#">Database</a> <a href="#">Hiromeki7</a> <a href="#">socialdog</a> <a href="#">dataSniper</a> <a href="#">Shop</a> <a href="#">PHONE APPU PEOPLE</a> <a href="#">WILL Mail</a>	<a href="#">KNOWLEDGE WORK</a> <a href="#">LOOV</a> <a href="#">Sales Marker</a> <a href="#">TOPTEMO</a> <a href="#">PUSHON</a> <a href="#">BRING OUT</a> <a href="#">GRX</a> <a href="#">Metrics Sales</a> <a href="#">Outstar</a> <a href="#">SALESCORE</a> <a href="#">b!face</a> <a href="#">notta.</a> <a href="#">Ocyzen</a> <a href="#">JPN</a> <a href="#">Baser</a> <a href="#">NOCO</a> <a href="#">Saleshub</a> <a href="#">GRAPH</a> <a href="#">ooredoo</a> <a href="#">Mobi</a> <a href="#">スマート</a> <a href="#">Reflectio</a> <a href="#">Engineerforce</a> <a href="#">DIZTEL</a> <a href="#">CallConnect</a> <a href="#">CAMPARD BUSINESS</a> <a href="#">アボレル</a> <a href="#">comdesklead</a> <a href="#">mynext</a> <a href="#">MaitoCode</a> <a href="#">immedia</a> <a href="#">Partnership</a> <a href="#">SalesNow</a> <a href="#">ACES Mail</a> <a href="#">data</a> <a href="#">B-FROM</a> <a href="#">Instrument</a> <a href="#">pickuponJ</a> <a href="#">HIWOY</a> <a href="#">LEADPAD</a> <a href="#">SmartSlide</a> <a href="#">richtak</a> <a href="#">flet</a> <a href="#">amptalk</a> <a href="#">TimeRep</a> <a href="#">MeeFa</a> <a href="#">Globe</a> <a href="#">TALK</a> <a href="#">FrontAgent</a> <a href="#">BranSales</a> <a href="#">SalesOn</a> <a href="#">B2B Marketing</a> <a href="#">UPWARD</a>	<a href="#">Helpfeel</a> <a href="#">Muicloud</a> <a href="#">Creative Server</a> <a href="#">HiCustomer</a> <a href="#">coorum</a> <a href="#">Vivitex</a> <a href="#">KIZUKAI</a> <a href="#">K.A.S.S. JAPAN</a> <a href="#">Observing</a> <a href="#">TechTouch</a> <a href="#">GA INFORM</a> <a href="#">Terry</a> <a href="#">Openstage</a> <a href="#">EmotifTech</a> <a href="#">Yoroi</a>		
HR	Backoffice	Legal		
<a href="#">back check</a> <a href="#">wellever</a> <a href="#">SmartHR</a> <a href="#">ジョブカン</a> <a href="#">WAFER</a> <a href="#">H2PHire</a> <a href="#">HERPNurture</a> <a href="#">HiManager</a> <a href="#">player area</a> <a href="#">joyer area</a> <a href="#">Recome</a> <a href="#">Percome Teams</a> <a href="#">ヨコラク</a> <a href="#">LabBase</a> <a href="#">HRBrain</a> <a href="#">KAKEAI</a> <a href="#">勤怠クラウド</a> <a href="#">RECOO</a> <a href="#">HARUTAKA</a> <a href="#">WAFER</a> <a href="#">ジョブテス</a> <a href="#">playre</a> <a href="#">team</a> <a href="#">TeamSticker</a> <a href="#">InsuiteX</a> <a href="#">エコットセラピスト</a> <a href="#">gigbase SURVEY</a> <a href="#">Shiftmotion</a> <a href="#">Branding</a> <a href="#">Countbase</a> <a href="#">Sci+reco</a> <a href="#">NEWORS</a> <a href="#">アット&amp;</a> <a href="#">Luno</a> <a href="#">muuv</a> <a href="#">エキワク</a> <a href="#">Workamples</a> <a href="#">workout</a> <a href="#">SMILE SCORE</a> <a href="#">MyRefer</a> <a href="#">shounin</a> <a href="#">Jobline</a> <a href="#">ハラカラ</a> <a href="#">CYDAS</a> <a href="#">HR</a> <a href="#">R&amp;B</a> <a href="#">Bonus</a> <a href="#">Recube</a> <a href="#">Gorely</a> <a href="#">Hobi*do</a> <a href="#">sonar</a> <a href="#">HR</a> <a href="#">HR</a> <a href="#">HR</a> <a href="#">Waves</a> <a href="#">TalentCloud</a> <a href="#">Employee</a> <a href="#">Dynamis</a> <a href="#">Guru</a> <a href="#">Job-Us</a> <a href="#">Onn</a> <a href="#">GrowthX</a> <a href="#">Talent Amp</a> <a href="#">Category</a> <a href="#">Hotworks</a>	<a href="#">projection</a> <a href="#">Scheeme</a> <a href="#">Scalebase</a> <a href="#">smartround</a> <a href="#">B2B77</a> <a href="#">DUNE</a> <a href="#">DeTravel</a> <a href="#">TOKIUM</a> <a href="#">Logless</a> <a href="#">UPSIDER</a> <a href="#">joyer area</a> <a href="#">steple</a> <a href="#">Leone</a> <a href="#">kickflow</a> <a href="#">D</a> <a href="#">AXLGEAR</a> <a href="#">ジョブカン</a> <a href="#">WAFER</a> <a href="#">Lanner</a> <a href="#">Ondemand</a> <a href="#">AI Travel</a> <a href="#">Jitta</a> <a href="#">株主報酬クラウド</a> <a href="#">Vividia</a> <a href="#">Smart</a> <a href="#">IT'S</a> <a href="#">board</a> <a href="#">Unicore</a> <a href="#">Pricing Studio</a> <a href="#">内閣府</a> <a href="#">GlobConnect</a> <a href="#">smithworks</a> <a href="#">Invoca</a> <a href="#">Forecast</a> <a href="#">Universe</a> <a href="#">プロカン</a> <a href="#">クラウド</a> <a href="#">SmartFeed</a> <a href="#">Cayman</a> <a href="#">zeroboard</a> <a href="#">SmartSC</a> <a href="#">OTXII</a> <a href="#">SmartUP</a> <a href="#">ateno</a>	<a href="#">QVA assist</a> <a href="#">Contract</a> <a href="#">Hubble</a> <a href="#">LAWGUE</a> <a href="#">paperless</a> <a href="#">GIGANTIC</a> <a href="#">Grafir</a> <a href="#">LURIS</a> <a href="#">System</a> <a href="#">KI</a> <a href="#">LegalScript</a> <a href="#">Torus</a> <a href="#">Lisse</a> <a href="#">paperlog</a> <a href="#">edge</a> <a href="#">One Visa</a> <a href="#">EVISU</a> <a href="#">REMOTE BANK</a> <a href="#">DocSign</a> <a href="#">LegalForce</a>		
Collaboration / Knowledge	Development / Design	Analytics / Research	Risk Management / Operation	AI / Automation
<a href="#">@choice</a> <a href="#">Beeswax</a> <a href="#">Spir</a> <a href="#">Avor</a> <a href="#">Quden</a> <a href="#">bookrun</a> <a href="#">IVRY</a> <a href="#">flowu</a> <a href="#">Kibeta</a> <a href="#">B2B77</a> <a href="#">Q&amp;easy</a> <a href="#">Eduki</a> <a href="#">Inncloud</a> <a href="#">Techne</a> <a href="#">Fileforce</a> <a href="#">SIP</a> <a href="#">Klara</a> <a href="#">ag-link</a> <a href="#">direct</a> <a href="#">SmartDB</a> <a href="#">B2B77</a> <a href="#">Yoton</a> <a href="#">B2BFOUNDER</a> <a href="#">ZMEETING</a> <a href="#">JICOO</a> <a href="#">oasis</a> <a href="#">Invenus</a> <a href="#">Talknote</a> <a href="#">WowTalk</a> <a href="#">トヨタ=</a> <a href="#">Get Master</a> <a href="#">Parque ment</a> <a href="#">Parque talk</a> <a href="#">flame</a> <a href="#">Dynamis</a> <a href="#">Remote Access</a> <a href="#">Remote Work</a>	<a href="#">STUDIO</a> <a href="#">Findy Team</a> <a href="#">ToPolog</a> <a href="#">flyte</a> <a href="#">Autify</a> <a href="#">ペライチ</a> <a href="#">Newt</a> <a href="#">PostLabel</a> <a href="#">Click</a> <a href="#">TimeCloud</a> <a href="#">Beckoner</a> <a href="#">RICHKA</a> <a href="#">E2E</a> <a href="#">Qosee</a> <a href="#">dotable</a> <a href="#">FRONTENDIA</a> <a href="#">Quickept</a> <a href="#">7D-1</a> <a href="#">AdFlow</a> <a href="#">Research Paper</a> <a href="#">VIDEOBRAIN</a> <a href="#">minna</a> <a href="#">Guerrier</a> <a href="#">forlio Team</a> <a href="#">ML</a> 	<a href="#">trecco</a> <a href="#">ZUTTA</a> <a href="#">LEGAL LIBRARY</a> <a href="#">Annews</a> <a href="#">Astrostrategy</a> <a href="#">datagusto</a> <a href="#">AppApe</a> <a href="#">SIP</a> <b>YOSHINA</b> <b>dataFerry</b> <b>dataDiver</b> <b>Patentfield</b> <b>UpSighter</b> <b>MatrixFlow</b> 	<a href="#">Up-Link</a> <a href="#">Security Scan</a> <a href="#">Resilire</a> <a href="#">Acall</a> <a href="#">Keyspider</a> <a href="#">webtree</a> <a href="#">YESOD</a> <a href="#">SecureNav</a> <a href="#">WAF</a> <a href="#">Conoris</a> <a href="#">asilla</a> <a href="#">KANNON</a> <a href="#">R</a> <a href="#">FrontAlert</a> <a href="#">無断返却クラウド</a> <a href="#">CloudBCP</a> <a href="#">Operation Cloud</a> <a href="#">AOSSBOX</a>	<a href="#">Biztex color</a> <a href="#">dotData</a> <a href="#">AUTORO</a> <a href="#">ActRecipe</a> <a href="#">Yoom</a> <a href="#">Anyflow</a> <b>FLUX</b>

# 主なプロジェクトの内容

## MAIN PROJECT DETAILS

本日のワークショップ



### デジタル化普及啓発

セミナー・ワークショップの開催で、福島県内の製造業のデジタル化について普及を促進。



### デジタル化導入支援

県内の製造業の方々に、コーディネーターを派遣。直接もしくはウェブで相談を行い、デジタル技術の導入をサポート。



### ふくしまAI・IoT技術研究会

入会者限定の福島県ハイテクプラザのAI・IoTに関する情報も配信。無料で入会可能で、近年、入会者が増加中！

# 主なプロジェクトの内容

## MAIN PROJECT DETAILS



### デジタル化普及啓発

セミナー・ワークショップの開催で、福島県内の製造業のデジタル化について普及を促進。

次のステップ！



### デジタル化導入支援

県内の製造業の方々に、コーディネーターを派遣。直接もしくはウェブで相談を行い、デジタル技術の導入をサポート。



### ふくしまAI・IoT技術研究会

入会者限定の福島県ハイテクプラザのAI・IoTに関する情報も配信。無料で入会可能で、近年、入会者が増加中！

# DX化を支援するリソースとサポート

## RESOURCES AND SUPPORT

### コーディネーターに相談！

直接もしくはウェブで相談を行い、  
デジタル技術の導入をサポート。



### アドバイザーとの連携！

研究機関や専門家と連携、  
企業に最適な支援体制を構築

技術提案  
ツール導入支援

## デジタル化導入支援

AI・IoTお試し  
キットの活用

今年度も、たくさんの企業様からご相談をいただいています！

# まとめ

## 1. 業務棚卸・課題洗い出し

- 「いつ、誰が、どこで、何を？」の形で付箋に書き出し、現場の課題を可視化

## 2. 優先順位付け&1つの改善アクション設定

- 緊急度×重要度、時間・コスト、短期できるか、などの観点で絞り込み
- 具体的に「誰が・いつまでに・どんな手順で取り組むか」を決めた

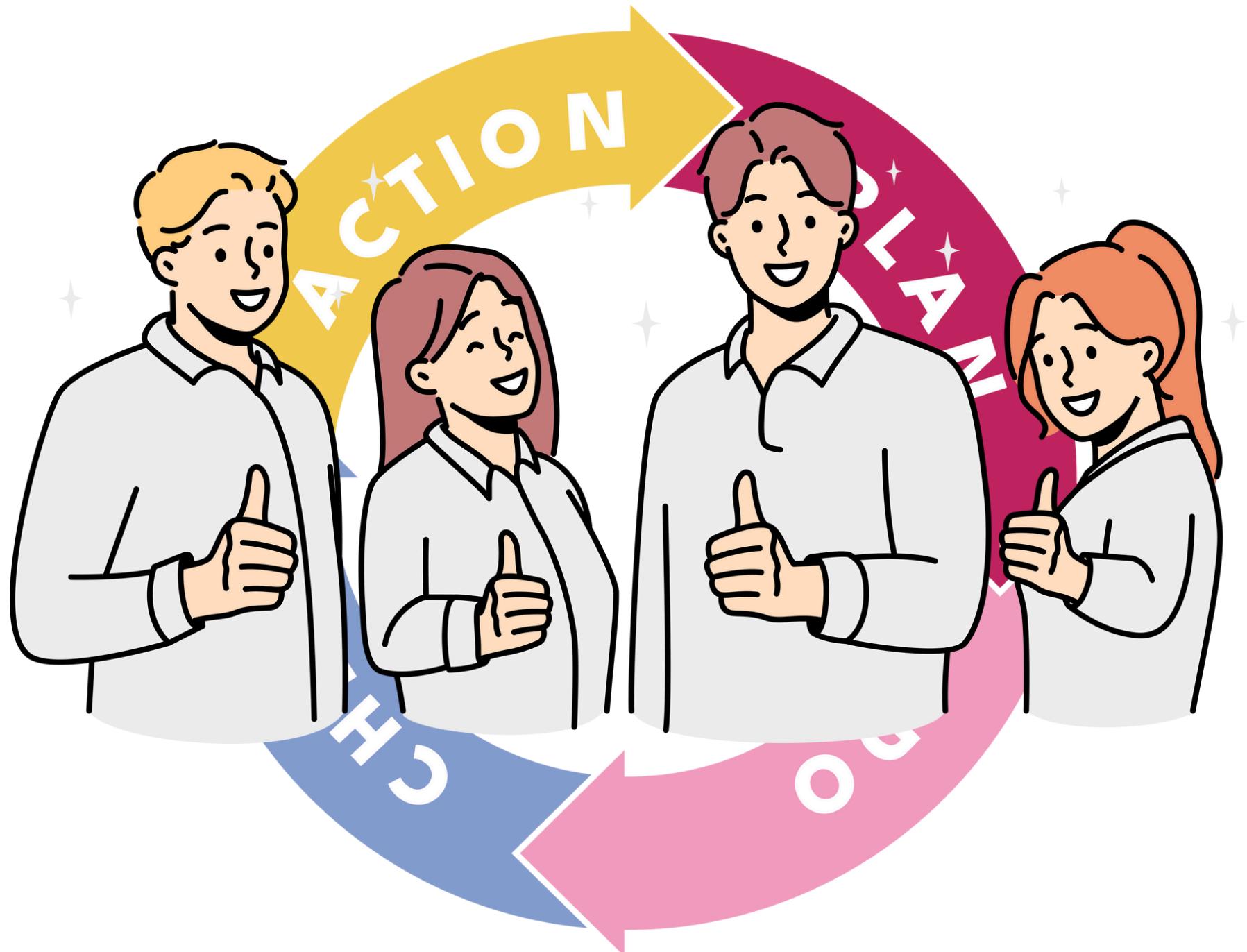
## 3. 次のステップ

- まずはアクションを動かし成果を確認
- 困ったら気軽にご相談を



# “失敗”してもDXの失敗ではない

IT'S NOT A FAILURE OF DX



- ・ツール導入失敗はゴールではなく  
“次の改善”的きっかけ
- ・現場の協力意欲が高まり、  
DX推進の土壌ができる
- ・PDCAを回しながら  
より最適な方法を見つける

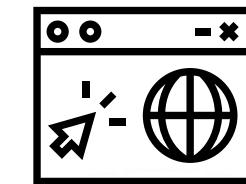
# お問い合わせ

DX導入に関するご相談、お申し込みは  
HPやメールまたはお電話にてご連絡ください

**福島県製造業デジタル化推進プロジェクト事務局**

福島コンピューターシステム株式会社

担当：壁谷、宮川、貝沼



**https://fmdx.jp**



**fmdx@fcs.co.jp**



**024-961-1015**